

りんせん通信

7
2025

発行：アロマセラピールーム林泉 <http://rinsen-aroma.com>

2025年7月7日発行(通巻第169号)

～香りの植物見学記(22)～

ユリの香りを求め、 夏の日比谷公園を訪ねました。



霞が関にはユリのお花畑があります

今から5年前、日比谷公園では、オリンピックに合わせユリを植えたそうです。そのユリが夏に満開になると聞き、行ってみることにしました。地下鉄の「霞ヶ関」駅で下車しB2出口に上がると、目の前が霞門です。ここに立つともう、白やピンクの花が見えます。

ユリロードを抜けて雲形池へ

ユリが集まるのは、日比谷公園のなかでも雲形池のほとりです。霞門から雲形池までの小道は「ユリロード」と呼ばれ、時期になると、両脇はユリの花でいっぱいになります。この日は盛りは過ぎていましたが、それでもあたりには甘い香りが漂っていました。



カサブランカ終わってました…

私が一番楽しみにしていたのは、カサブランカです。けれど、花壇まで来てみると、すでに花期は終わっていました。カサブランカといえば、まわりを圧倒するゴージャスな香りが特徴でしょう。その強さが、屋外ではどんな感じか体験したかったのです。

八重咲のユリは、カサブランカの香り

特大のユリを見つけました。名札には、「ホワイトアイズ」と書かれています。調べてみると、別名は「ダブル・カサブランカ」というそう。近くで香りを嗅ぐと、まさにカサブランカのように濃厚ですが、風にのると、いい塩梅に薄まってとってもさわやかです。



香りのピークは6月下旬

カサブランカなどよく香る品種は、レストラン「日比谷パレス」の向かい側に多く集まります。場所は、雲形池のやや西寄りです。時期は、香りが目的ならば、6月下旬を狙うとよいでしょう。今回私が訪ねたのは7月はじめて、少し遅くなってしまいました。



夏季休業のお知らせ

7/30(水)～8/3(日)

ご不便をおかけしますが、
よろしくお願い致します。

おすすめアロマグッズ No.137



プレシャワ-DFミストプラスハーブ
(KINCHO)

天然のハッカ油配合の虫よけ剤です。虫よけ成分には、イカリジンが使われています。イカリジンには素材のにおいが無いので、この虫よけ剤はハッカのさわやかさだけが感じられます。その香りもほのかで、スプレー後いつの間にか消えてしまうレベルです。実際に、庭仕事のときに使ってみたら、蚊は近くまできましたが、肌にとまらずどこかに行っていました。香りだけでなく、効果も優秀です。

編集後記

メイン記事の日比谷公園、この日はユリの撮影を楽しむ人があちこちに見つかりました。さらに、雲形池には、ドレス姿でウェディングフォトを撮っているカップルがいたり、暑いなかランニングする人たちの足音も響いていました。

昼の12時になると、急に人が増えました。多くが、白いシャツと紺のパンツのスタイルです。そういえば、公園の向かいには霞が関の官庁街。緊張感の走る職場から一息つきに來たのでしょうか。都会の公園にはいろんな人が集まります。